

心理小委員会 活動報告

心理小委員会
小委員長 和氣 典二

1. 小委員会の目的

心理小委員会では、「公共的地下空間の知覚環境に関する研究」をテーマとし、心理学の観点から、地下空間における人間の行動について研究し、公共的地下空間の多様な利用者の知覚環境、災害時行動などに重点を置き、フィールド実験を中心に検討を行い、その成果を実際の地下施設へ適用することを目的とする。

2. 研究テーマと基本方針

2.1 テーマ

- (1) QOLによる地下空間の評価
- (2) 地下空間における非常時の行動と交通弱者の行動
- (3) 蓄光素材を中心とし、節電にも配慮した避難誘導システムの開発とその評価方法
- (3) 土木・心理・建築からみた地下空間—仮称「わかりやすい地下空間と人間」の考えと展開

2.2 基本方針

- ・ QOLを用いた地下空間の評価手法について検討を行う。
- ・ 地下における非常時（地震時、火災時、出水時等）の人間行動について心理的な側面から検討を行う。また、地下空間における交通弱者の行動について検討を行う。
- ・ 各分野から話題提供を頂き、「わかりやすい地下空間」とするためには、どのような点に注意すべきかまとめていく。

2.3 研究スケジュール（3か年）

活動内容／年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
◇継続テーマ			
・ 課題の抽出, 具体的分析研究	←	→	→
・ 成果とりまとめ			←
◇新規テーマ			
・ 情報・資料の収集整理	←	→	
・ 事例の調査・研究		←	→
・ 課題の抽出, 具体的分析研究		←	→
・ 成果とりまとめ			←

3. 活動経過（平成 23 年 1 月～）

◇平成 23 年 2 月 4 日 第 12 回小委員会

- ①鹿島学術振興財団の研究状況について
- ②親委員会、幹事会報告
- ③来期の活動テーマについて

◇平成 23 年 3 月 25 日 第 13 回小委員会

- ①話題提供「エスカレーターや階段の昇降に必要な情報」（慶應義塾大学中野教授）
- ②鹿島学術振興財団の実験報告
- ③今期報告書のまとめについて

◇平成 23 年 5 月 18 日 第 14 回小委員会

- ①鹿島学術振興財団の実験報告
- ②今期報告書のまとめについて
- ③幹事会報告

◇平成 23 年 8 月 1 日 新旧委員会引き継ぎ会

◇平成 23 年 9 月 20 日 第 1 回小委員会

- ①委員自己紹介
- ②副委員長を選任
- ③今期のテーマと運営について
- ④幹事会、シンポジウム実行委員会からの報告

◇平成 23 年 11 月 28 日 第 2 回小委員会

- ①話題提供「中国における地下利用計画」（門前委員）
- ②活動計画について（再議論）+WG の編成
- ③幹事会、シンポジウム実行委員会からの報告

◇平成 24 年 2 月 16 日 第 3 回小委員会

- ①見学会：名城大藤田研究室
- ②話題提供：「蓄光体材料の利用と今後の動向」（名城大学理工学部藤田晃弘教授）、
「安全航海と航海視環境」（神戸大学海事科学研究科古荘雅生教授）
- ③幹事会からの連絡等

◇平成 24 年 8 月 9 日 第 4 回小委員会

- ①話題提供：「自動車運転時のヒューマンエラーとその対策」（早稲田大学人間科学部石田敏郎教授）
- ②幹事会からの連絡等

◇平成 24 年 10 月 22 日 第 5 回小委員会

- ①話題提供「福島原子力発電所での JV 業務に関するご経験談」(株式会社竹中土木 安藤部長)
- ②討論:「非難行動におけるリーダー育成の必要性」(ご提案:中京大学神作博名誉教授)

4. 委員名簿

役職	氏名	勤務先名称
委員長	和氣 典二	神奈川大学
副委員長	石田 敏郎	早稲田大学
委員	安藤慎一郎	(株)竹中土木
委員	市原 茂	首都大学東京
委員	伊藤 均	八千代エンジニアリング(株)
委員	今泉 暁音	福岡大学
委員	榎本 博明	MP人間科学研究所
委員	河本健一郎	川崎医療福祉大学
委員	神作 博	中京大学
委員	清水 則一	山口大学
委員	関口 佳司	関口佳司景観研究所
委員	中野 泰志	慶應義塾大学
委員	西 淳二	NPOジオテクチャーフォーラム
委員	西田 幸夫	東京理科大学
委員	日比野 敏	(財)電力中央研究所
委員	藤田 晃弘	名城大学
委員	本多 薫	山形大学
委員	向井 希宏	中京大学
委員	門前 敏典	(株)日建設計シビル
委員	山村 信雄	(株)玄技術研究所
委員	吉本 直美	神奈川大学
委員	和氣 洋美	神奈川大学
委員	三田 武	(株)日建設計シビル
委員	床尾あかね	東京海上日動リスクコンサルティング(株)